

札幌市青少年科学館プラネタリウムのリニューアルオープンについて

札幌市青少年科学館プラネタリウムは、小中学生の理科学習、さらに一般市民の宇宙科学への興味・関心に応えるため、昭和56年に設置して以来300万人以上の利用をいただいております。

この間、プラネタリウム本体は平成9年度に更新しておりますが、星以外の映像を映し出す補助投影装置や客席の老朽化、スクリーンとなるドーム面の劣化が著しく、早急な更新整備が必要となりました。

このため、平成16年10月から改修工事を実施してきましたが、今月末に工事が完了し、4月29日にリニューアルオープンします。

1 工事等の概要

(1) 国内初となる「デジタルプラネタリウム機能付き全天周映像投影装置」の導入

6台のプロジェクターが、ドーム全天を割り当てし、動画やCGなどを映し出します。全天で10万個の星々を映し出すデジタルプラネタリウムもこのプロジェクターから映し出されます。動画による迫力、肉眼で見える以上の星々の美しさまで表現できるようになりました。

(2) スクリーンの張り替え

つなぎ目の見えにくい工法によりスクリーンを張り替えたため、新しい装置が映すCGの迫力を妨げることなく、ドーム全体に広がる美しい星空をお楽しみいただけます。

(3) 座席の更新

座面が大きく、座席の前後の間隔を広げ、レバーでリクライニングできる座席にしました。よりスムーズな入退席ができ、ステージも見やすくなります。

また、車いすの場合は、従来どおり座席を外して対応できます。

(4) 新番組の作成

リニューアルオープンに合わせ、新しく2本の番組（『太陽系外に惑星を求めて』、『よぞらにかかる川』）を制作しました。

2 事業費

総額約160,000千円

3 リニューアルオープン日

平成17年4月29日（金）「みどりの日」から一般公開

なお、4月28日（木）には、オープニングセレモニーのほか、セレモニー参加者および報道機関向けの見学会を予定しています。詳細が決まり次第、あらためてお知らせします。

問い合わせ先

札幌市青少年科学館（財団法人札幌市生涯学習振興財団）

電話 892-5001

教育委員会生涯学習部生涯学習推進課

電話 211-3871

(6台のプロジェクターがドーム全体に動画やCGを映し出します)



(以前は1枚のみのスライドを映すプロジェクターが所狭しと並んでいました。番組ごとに切り替えるため、コマ送り音が、かなり気になりました)



SIM4
この装置が6台配置
されます



6台のプロジェクターが、ドーム全天を割り当てし、動画やCGなどを映し出します。全天で10万個の星々を映し出すデジタルプラネタリウムもこのプロジェクターから映し出されます。

動画による迫力、肉眼で見える以上の星々の美しさまで表現できるようになりました。